

坂戸都市計画道路の変更について

鶴ヶ島市都市整備部都市計画課

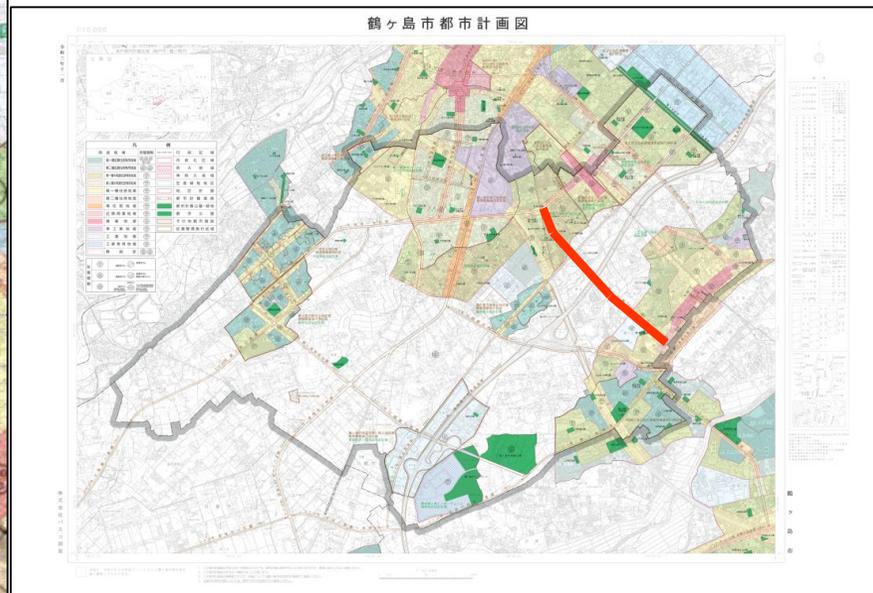
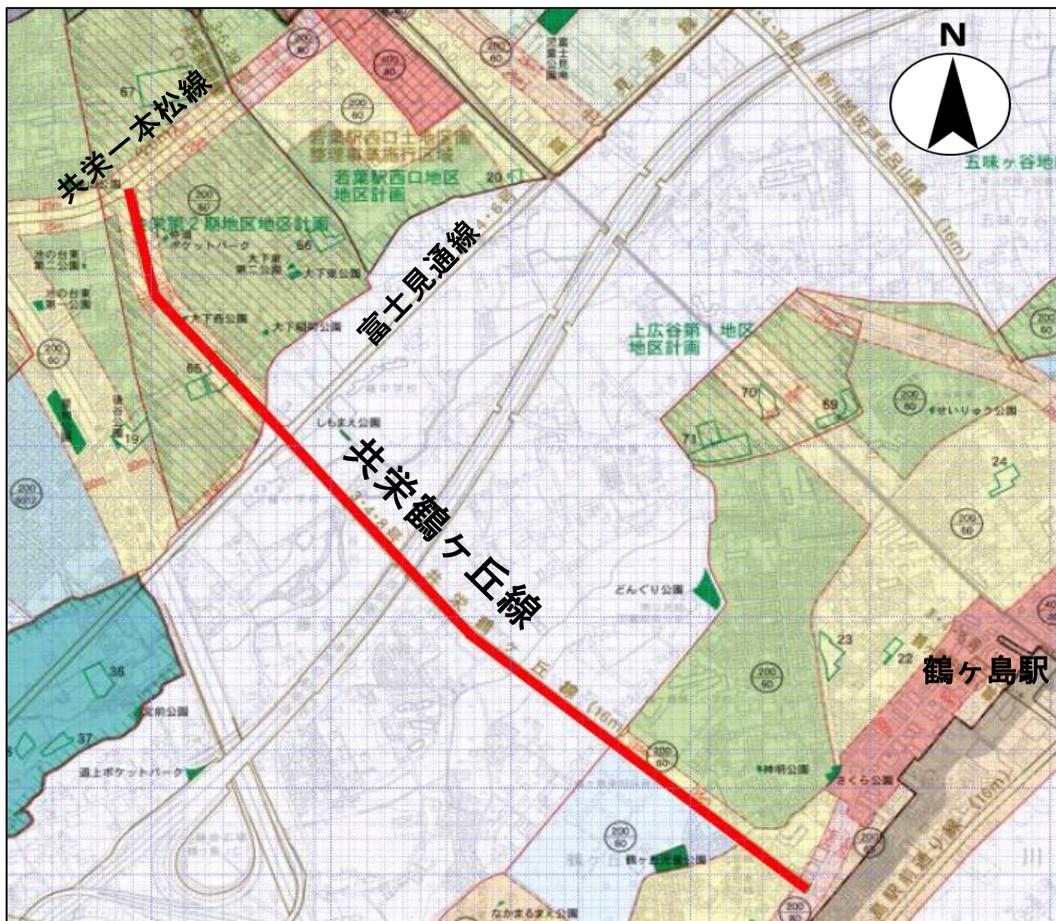
1. 共栄鶴ヶ丘線の概要

- 共栄鶴ヶ丘線の原形は、鶴ヶ島と坂戸を東西方向に結ぶ広域幹線道路(浅羽鶴ヶ丘線)として昭和42年に決定されました。
- その後、関越自動車道の計画に伴い、昭和46年に市内の共栄地区と鶴ヶ丘地区の市街地を結ぶ幹線道路(共栄鶴ヶ丘線)に変更されたものです。

路線名	起点・終点	延長	幅員
共栄鶴ヶ丘線	大字藤金字仲道・ 大字鶴ヶ丘字駅通	約 1, 9 9 0 m	16. 0m

1. 共栄鶴ヶ丘線の概要

【位置図】



2. 都市計画変更の経緯と概要

- 市では、未整備となっている都市計画道路を対象として整備優先順位の評価・比較検討を行い、令和元年12月に「都市計画道路整備方針」を策定しました。
- 当該方針において、共栄鶴ヶ丘線の一部区間（富士見通線から市道229号線）は整備優先順位が最も高かったことから、令和3年度に、今後の整備の具体化に向けて、交通量調査・推計を実施し、市内の地域間を結ぶ幹線道路として実状に見合った道路規格となるよう検証しました。
- その検証結果等を踏まえ、次のページのとおり見直しを行うこととしました。

2. 都市計画変更の経緯と概要

【変更区間】

○富士見通線から市道6号線(鶴ヶ島駅通り)までの区間

- ・ 市街化調整区域の割合が多いほか、終点の市道6号線の幅員が8m程度であることを踏まえつつ、交通量推計の結果一日当たりの将来交通量が4千台未満であったことから、交通量に見合った計画幅員への変更等を行います。

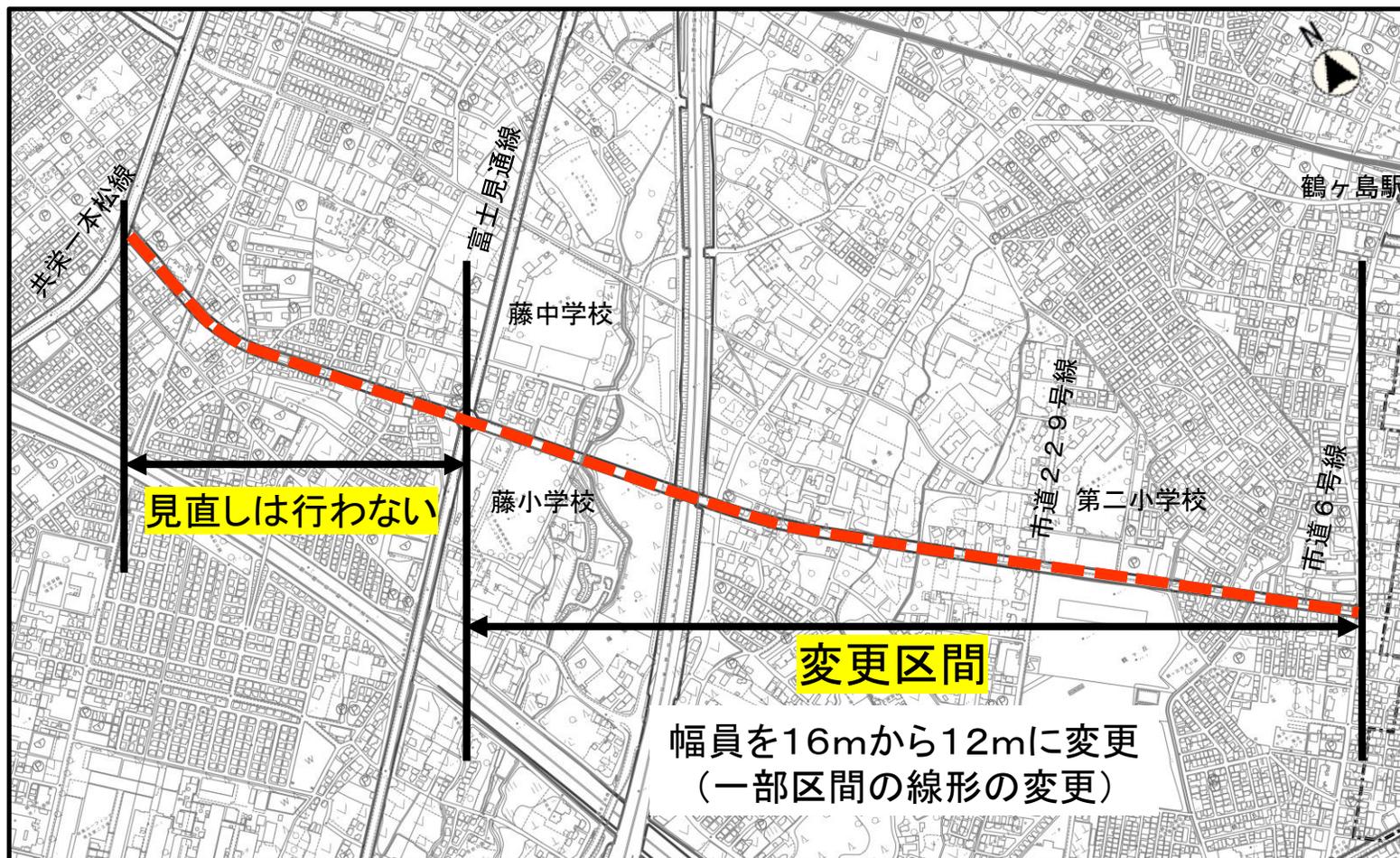
※ 共栄一本松線から富士見通線までの区間は、交通量推計の結果、現計画の幅員が必要であることから見直しは行いません。

【変更内容】

- ・ 変更区間の幅員を「16m」から「12m」に縮小します。
また、幅員の縮小等に伴い一部区間の線形を変更します。

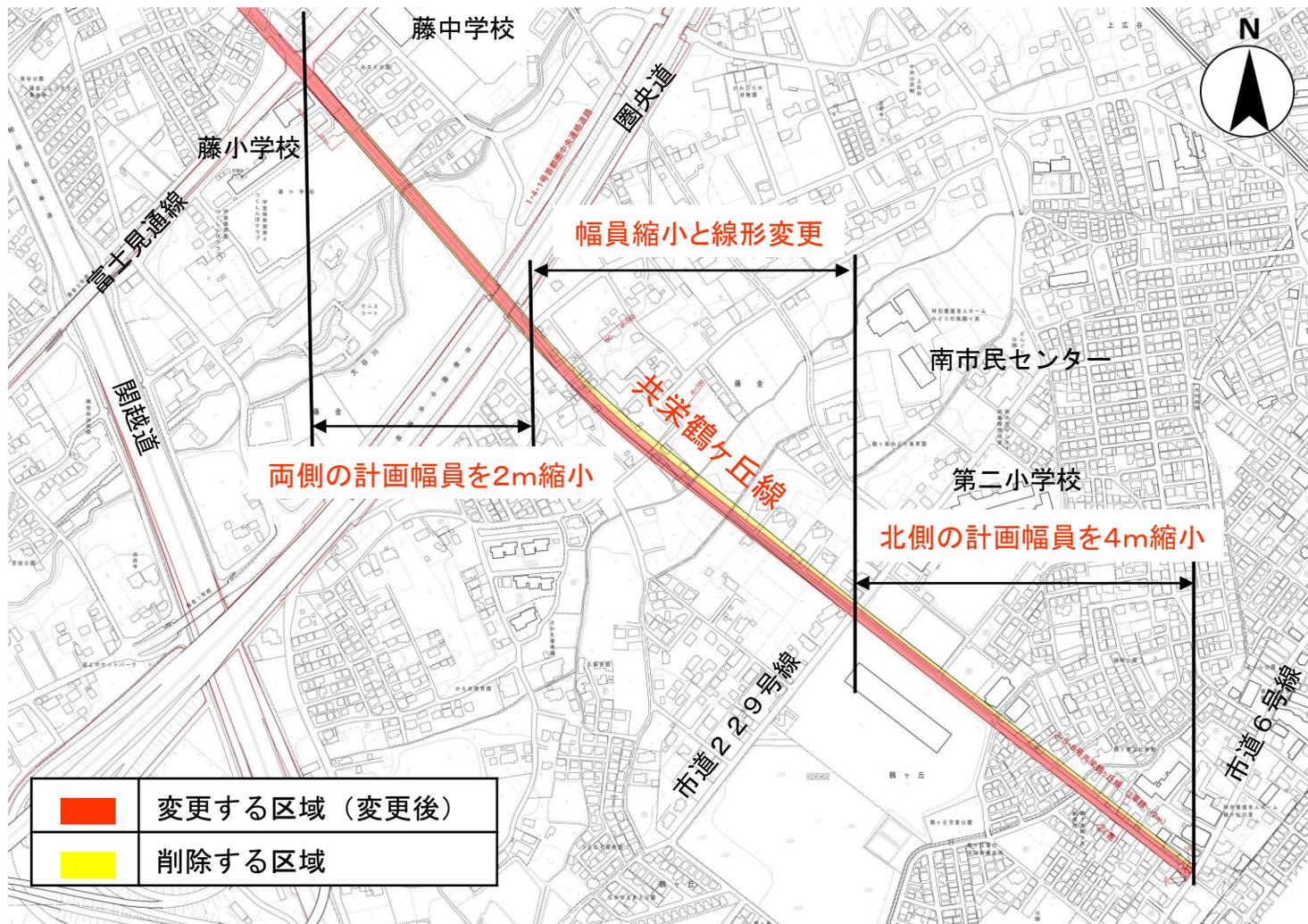
2. 都市計画変更の経緯と概要

【変更箇所図】



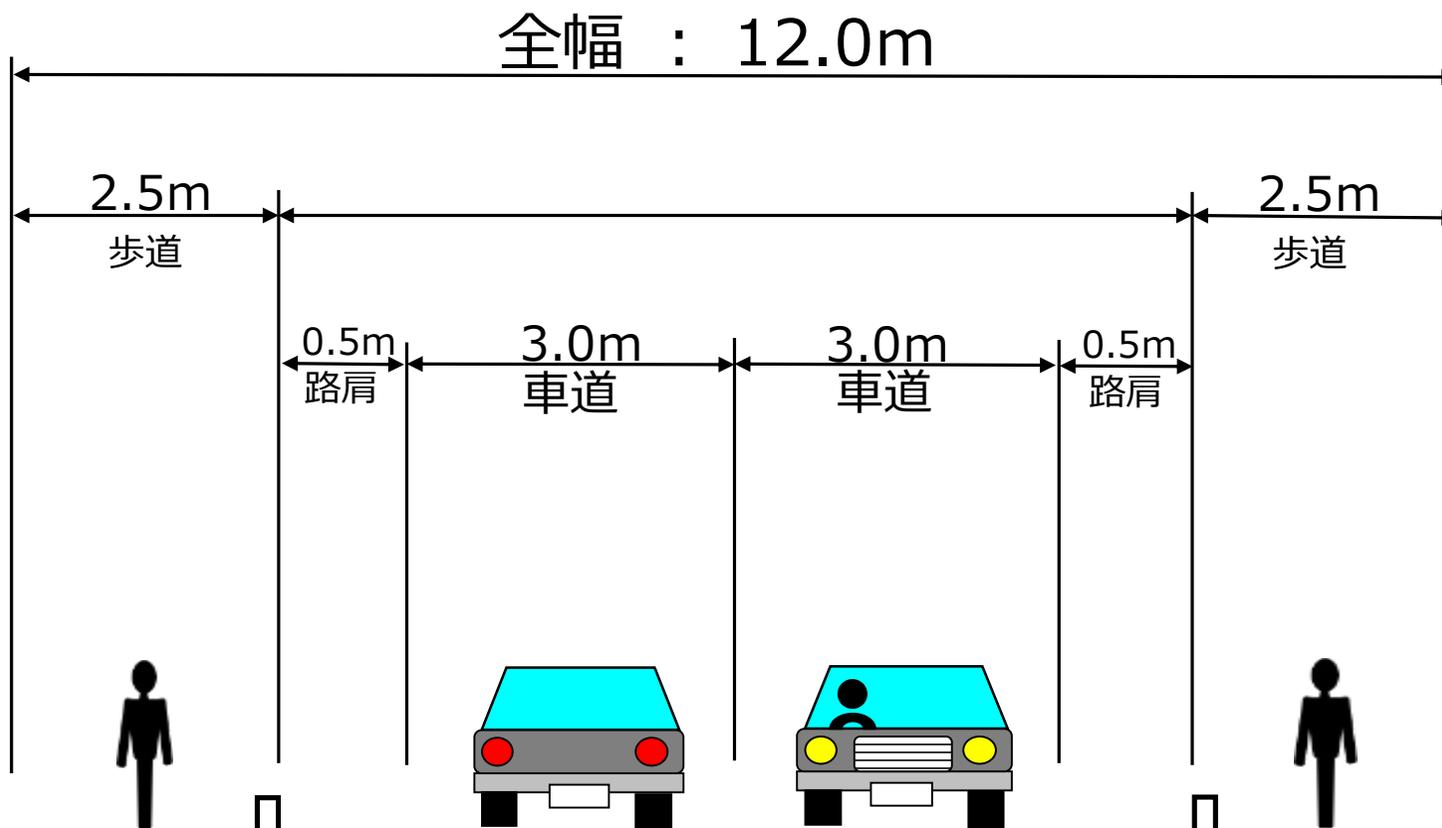
3. 都市計画変更の素案

【変更概要図】 ※拡大した図面は別添のとおり。



3. 都市計画変更の素案

【標準横断図】



4. 都市計画変更の手続きの流れ（予定）

